

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
275	福祉総合システム維持管理事業	01	一般会計		
		03	民生費		
基本施策	3	高齢者などを地域や集落で支える環境をつくる	01	社会福祉費	
			01	社会福祉総務費	
担当部課名	厚生保護課		106	社会福祉一般事務経費	
作成者氏名	今高光芳	連絡先	22-9650	細々目	01
					福祉総合システム管理経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
	福祉総合システム「ささえ」を利用するもの 事務処理をする担当ワーカー 保護費の支払い事務をする職員 医療券を発行事務をする職員 生活保護に関わる統計資料を作成する職員	保護費の支払い事務を迅速で正確な事務処理が出来る。 医療券の発行は、本庁が各支所で発行できる。 定例の統計資料が正確で、迅速に処理できる。				
本年度事業内容	福祉総合システム「ささえ」の維持管理 生活保護世帯のデータを入力しておく、月々の保護費支払い集計等をする。 生活保護関係の毎月の統計資料の作成が容易にできる。 生活保護世帯が病院を受診するとき医療券の持参が必要であるが、医療券の発行事務を本庁と支所で発行できる。					
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
②支出内訳(千円)	事業費(B)	23,935	14,943	14,943
	委託料	20,395	11,953	11,953
	その他	3,540	2,990	2,990
	合計(A+B)	24,655	15,663	15,663
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
一般財源	24,655	15,663	15,663	
上記①～③に関する特記事項				
17年度は、大幅な制度改正のためシステム開発費が必要であった				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
生活保護受給者数	述人数	12,958	13,800	14,700			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
事務処理の被保護者登録人数	保護費の支払い事務や定例の統計資料が正確で、迅速に処理できる。	延人数	12,958 目標 ( )	13,800	14,700
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

法改正に対応して、システムの変更をしている。 生活保護法の統計資料作成事務など、定例的な事務処理を容易にできるシステムに改善を図っている。
--

評価	必要性	4	生活保護世帯が増加する中、毎月、生活保護の開始・廃止・世帯員の入退院など保護費の変更も多い。 締切日を遅くすることで、生活実態に合った保護費の算定をすることとなる。支払い事務が迅速に処理され、医療券も本庁と各支所でも可能であり、保護者は利用に便利な場所で、発行を受けられ効率がよい。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		